

思い込み・過信



対策



解説

どのような状況で起きる?

- ・早くやらなければと焦っている時
- ・普段うまくやっていると楽観している時

どのような影響を受ける?

- ・事実の検証を伴わない推論を事実と信じる「思い込み」
- ・過去の成功体験、類似経験によって引き起こされる「過信」

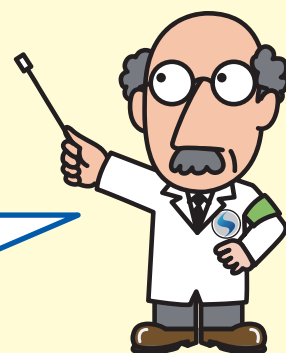
どのように防ぐ?

- ①状況の見える化 → 作業できる状況かどうかの確実性向上
- ②事前打合せ → 前工程完了が前提であることの共有
- ③3-way コミュニケーション → 作業進捗状況の確実な把握

「水抜きが終わっているはず!」が確認の代わりになってしまうという“誤ったメンタルモデル”のせいなんじゃ。

「いつもどおり」「〇〇のはず」と思ったら要注意!

一旦立ち止まって確認を確実にするんじゃ!



Dr.ジャン・シー

「エラーの芽」は、人間がエラー起こしやすい職場に潜む好ましくない状況であり、それに気付いて排除することにより、エラー発生の未然防止につなげることができます。このポスターは、事例を参考に安全啓発資料として編集・作成しています。



世界最高水準の安全性の追求～たゆまぬエクセレンスの追求～
一般社団法人 原子力安全推進協会
Japan Nuclear Safety Institute

ヒューマンファクター検討会

〒108-0014 東京都港区芝5丁目36番7号 三田ベルジュビル14階 TEL 03-5418-9312(代) FAX 03-5440-3606 HP: <http://www.genanshin.jp>

「過去のポスター一覧」

